

# 運 営 現 場 安 全 ガ イ ド ラ イ ン



---

安全専門部会B

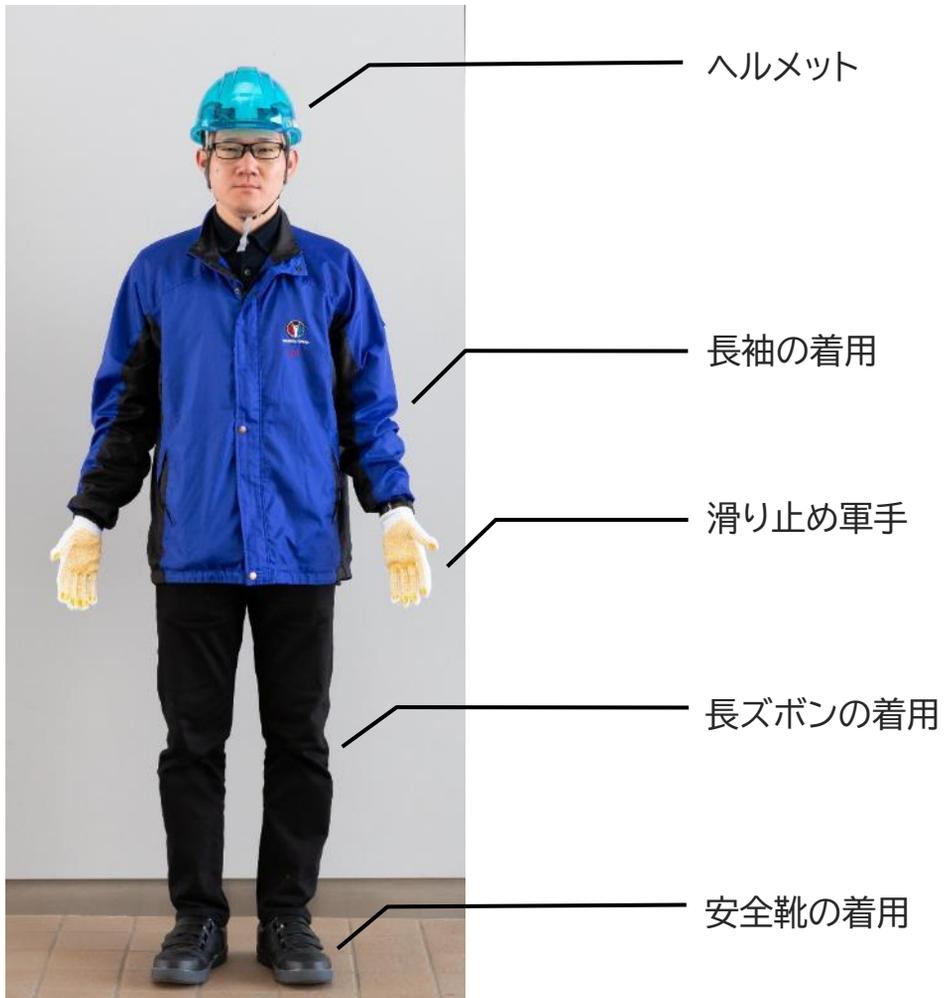
第9版 2025.4

### ③. 装備

#### (1) 基本の装備・服装

作業エリア内にて、設営・撤去等の作業に従事する際は、原則、下記アイテムを装備することを推奨する

- ☑ 長袖の着用
- ☑ 長ズボンの着用
- ☑ 保護帽(ヘルメット)の着用 ※顎紐をしっかりしめる
- ☑ 安全靴の着用
- ☑ 滑り止め付軍手の着用



### ③. 装備

#### (2) 最低限必要なもの

メイン業務の兼ね合いで、前頁「基本の服装・装備」の順守が難しい場合、最低限必要な下記アイテムを携帯し、作業時に使用することを推奨する

- ☑ **アームカバー**の携帯(作業時のみ着用)
- ☑ **滑り止め付軍手**の携帯(作業時のみ着用)

※上記以外で、安全に配慮した装備ができている場合は、作業に従事することが認められる



## ④.作業前の確認事項



### (1)作業前ミーティングの実施

指揮監督者は、作業開始前に現場従事者に対して作業前ミーティングを実施し、当日の作業内容、危険ポイント(ヒヤリハット)、スケジュール等、及びKY活動実施の徹底を伝達した上で作業を開始させること。

#### ～ミーティングの実施内容～

- ☑ **作業内容の伝達** … 当日の作業内容／他作業の内容／時間 など
- ☑ **安全装備の確認** … 基本の装備・服装の着用の確認
- ☑ **報告・連絡・相談** … 当日起きたことは、当日中に必ず指揮監督者(またはチーフ)へ伝達する ※次項参照
- ☑ **声出しの徹底** … 呼ばれた時の返事／複数名での作業時の声かけ など
- ☑ **災害防止の内容** … 危険ポイント(ヒヤリハット)・過去の事件事例紹介／やってはいけない作業の確認 など
- ☑ **作業エリアの周知** … 立入禁止区域の確認 など
- ☑ **作業場の規制** … 搬入経路 など
- ☑ **施設の確認** … トイレ／喫煙所／食事／歩行者通路 など
- ☑ **危険予知の伝達** … テント設営・撤去／台車運搬／短時間工程 など
- ☑ **予防と緊急対策** … 従業員の健康状態／緊急連絡先／最寄り病院 など
- ☑ **年少者有無の確認** … 満18歳未満者の年齢確認／深夜(PM10～AM5時)業務および危険有害業務の就業制限

## ④.作業前の確認事項

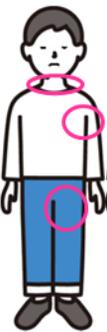
### (2)体調管理

体調管理を行うことは、不慮の不安全行動による災害を防止するための基本的な事柄である。

指揮監督者 … 現場従事者の体調を把握し、適度な休憩・休息を取らせること。  
(現場担当やそれに準ずる者) また熱中症を含む体調不良者が発生した場合の報告体制(氏名・連絡先等)を整備し、現場従事者へ必ず周知すること。

現場従事者 … 体調管理をしっかり行ったうえで現場入りすること。  
(社員・アルバイトなど) 万一、体調が優れない、あるいは体調を崩した場合は、無理をせず、指揮監督者(またはチーフ)に速やかに申し出ること。  
また、ケガが発生した場合は、必ず業務中に速やかに申し出ること。

#### 身体の冷却



衣類をゆるめて熱を逃がす。皮膚に直接水をかけて身体を冷やす。  
また、氷水などを首・脇の下・股関節部にあてると効果的。

#### 涼しい場所に避難



業務から離脱させ風通しの良い日陰や涼しい室内へ避難させる。  
急変・悪化することもあるため一人にしないこと！

#### 熱中症が発生したら…



熱中症は初動対応が肝心です。連絡を受けたら、速やかに手当てすること！

#### 暑さ指数(WBGT)の確認

暑さ指数とは熱中症予防のための、気温・湿度・輻射熱を取り入れた値。現場での暑さ指数を確認し、熱中症のリスクを判断すること！

危険	31℃以上
厳重警戒	29～31℃
警戒	25～28℃
注意	25℃未満

#### 医療機関へ搬送



自力で水分補給ができない、呼びかけに応じない場合などは、すぐに救急隊を要請すること！

#### 水分・塩分の補給



経口補水液やスポーツドリンクで、失った水分・塩分を補給させる。

## ④.作業前の確認事項

### ヒヤリハット・事事故事例

#### (3)ヒヤリハット・事事故事例と望ましい作業方法

❖声かけ・声出し



声をかけ合わずに積荷を置いたため、片側の人の手が挟まってしまった！



⚡ 周囲に声かけしないと衝突の危険がある！



⚡ 出入管理業務の際、無理な体勢で制止すると腕や肩を痛めてしまう！

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

◆声かけ・声出し



お互いに声をかけあいタイミングを合わせて運ぶこと！  
声を出すことも仕事！  
重たい物は必ず複数人で持つこと！



通路の確保が難しい場所は必ず誘導係をつける！



まずは声をかける！  
外国語などで言葉が通じない場合は自分のパスを見せるなどゼスチャーで示すと無理な体勢を防げる！

## ④.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事件事例

### (3)ヒヤリハット・事件事例と望ましい作業方法

#### ❖台車運搬時①

##### 【誤った操作で想定される人身事故】

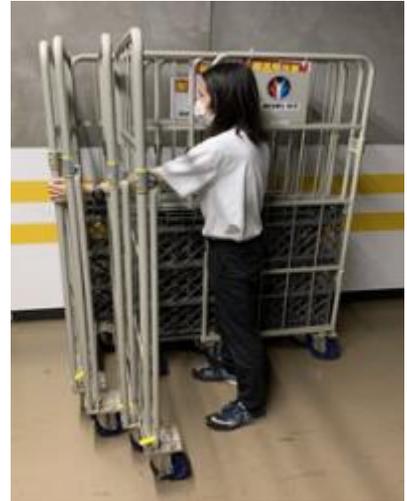
- ・手足をはさむ事故
- ・人への衝突事故

##### 【誤った操作で想定される物損事故】

- ・会場施設にぶつける事故
- ・積載物を落とし積荷を破損させてしまう事故



積荷近くの手すりを持つと手を挟む！



※ 4台重ねて運搬すると視界が悪く危険！



車輪近くで運搬すると足を轢く！



※ 1人で運搬し、操作を誤り壁に激突した！

# ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

## (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

### ◆台車運搬時①

【現場でよく使用する台車】

台車の種類に応じた適切な扱い方で、挟まれ事故や衝突・落下事故を防ごう！



手押し台車



カゴ台車



柵台車

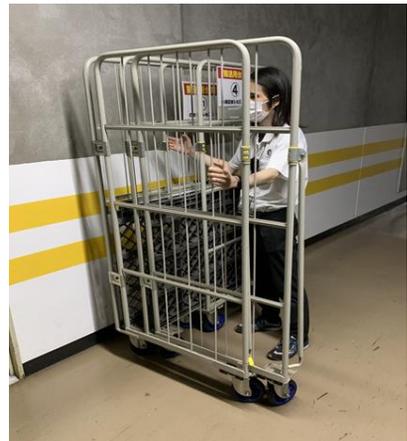


運搬は複数人で！

カゴ台車や柵台車は必ず複数名で運搬する！軍手着用品が望ましい。



車輪に巻き込まれないよう、足元と台車との距離を広めにとる！



重ねて運搬するときは一度に2台までとする！

## ④.作業前の確認事項

### ヒヤリハット・事事故事例

#### (3)ヒヤリハット・事事故事例と望ましい作業方法

##### ❖台車運搬時②



💣 ※ 下り坂での前向き運搬は積荷が落下する危険がある！



💣 ※ 減速しなかったため、出会い頭で衝突してしまった！



荷物を高く積み上げると前が見えづらく、前方者の足をひいてしまう！  
また、安定が悪く積荷が落下し、人身事故のほか、施設や積み荷が破損する危険もある！



💣 ※ ウェイトを重ねて積むと、不安定な道や坂などで荷崩れを起こす危険がある！  
足にウェイトが落ちて骨折した事案もある！



## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ❖台車運搬時②



傾斜で積荷が落下しないように、必ず後ろ向きで運搬すること！



見通しの悪い場所では必ずスピードを落とすこと！



積荷は前方の視界を確保し、高く積みすぎないこと！  
安定が悪い場合は必ず複数名で支えながら運搬すること。



ウエイトは重ねて積まずに運搬すること！

## ④.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事事故事例

### (3)ヒヤリハット・事事故事例と望ましい作業方法

#### ❖台車運搬時③



傾斜での留置きは、積荷が安定せず倒壊の恐れがある！  
キャスターのロックをかけたままだと、台車が動き出して大変危険！  
またキャスターロックを解除せず、無理に操作すると床面を傷つけてしまう！

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ◆台車運搬時③



台車は傾斜のある場所は避け、平地で留め置くこと！  
運搬前に必ずキャストのロック・解除を指差し確認する！

## 安全ステッカーで注意喚起

台車の運搬は、例年事故発生原因の上位を占めています  
手押し台車・カゴ台車・柵台車用など、視覚で注意を促せるよう  
さまざまなタイプのステッカーを作成しました  
現場で活用し、事故減少を目指しましょう！



## ④.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事故事例

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ❖ウエイト等、重量物運搬時①



誤った場所を持つと指を挟む！骨折事故にもつながり非常に危険！



片手だけの運搬は落下しやすい!!  
また、不安定な場所を持って運搬すると荷崩れの危険がある！  
足元に落としたり、運搬物・会場を傷つける危険がある！

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ◆ウエイト等、重量物運搬時①



ウエイトのくぼみの部分を持つ。  
置く際は下に何も無いことを  
確認してゆっくりと置くこと！



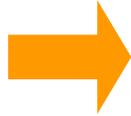
複数名で作業できないときは、安定した場所を  
両手でしっかりと抱えて運ぶこと！

## ④.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事事故事例

### (3)ヒヤリハット・事事故事例と望ましい作業方法

#### ◆ウエイト等、重量物運搬時②



屈伸をせず手だけを  
引き上げる姿勢は、腰痛を  
引き起こす！



無理して一度に持つと、視界が  
悪く運搬途中で転倒する恐れ  
がある。  
ケガや物損の要因となる！

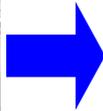


## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事件事例と望ましい作業方法

#### ❖ウエイト等、重量物運搬時②



荷物と同じ高さまで腰を下ろして、屈伸を利用してまっすぐ荷物を持ち上げると腰への負担を軽減できる！



はい！

前に進むよ！



慣れていない場合は無理をせず、複数名で運搬することが望ましい。複数名で作業する場合は、必ず声をかけ合うこと！

## ④.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事故事例

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ❖長机設営時



ロック部分を持つと指をはさみ怪我をする危険がある！



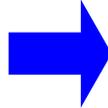
しっかりロックしないと、脚がくずれて大きな事故につながる！

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ◆長机設営時



ロック部分ではない部分を持ちながら、指を挟まないように気を付ける！  
しっかりロックして固定すること！



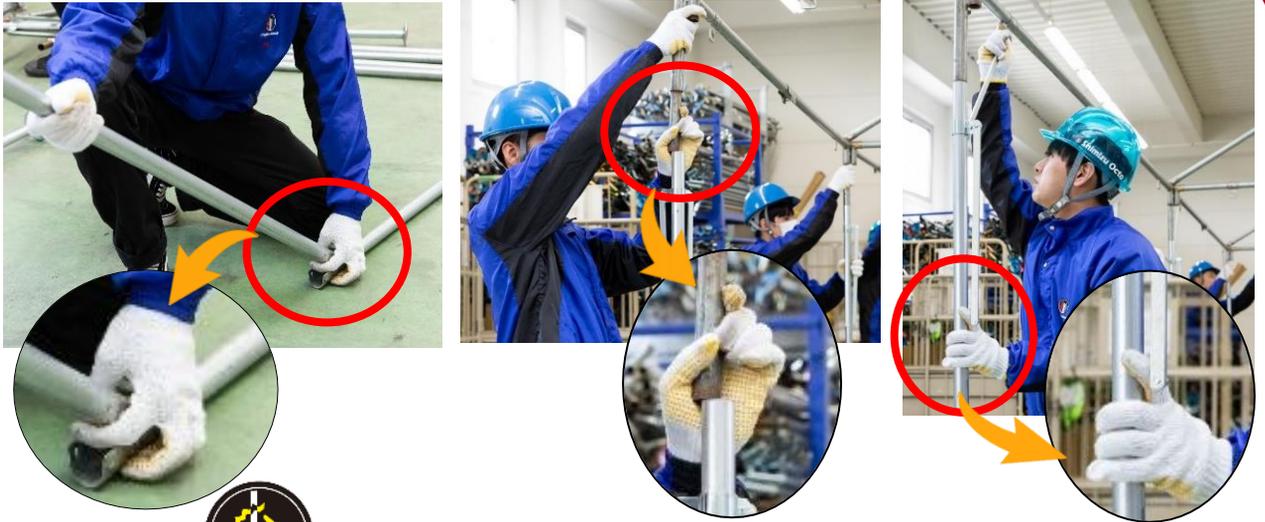
荷崩れが起きないように、規則的に並べてまとめること！

## ④.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事事故事例

### (3)ヒヤリハット・事事故事例と望ましい作業方法

#### ❖テント設営撤去時



誤った部分を持つと切創・切断や倒壊の危険性がある！



屋外では強風などの悪天候で  
飛来や倒壊の危険がある！



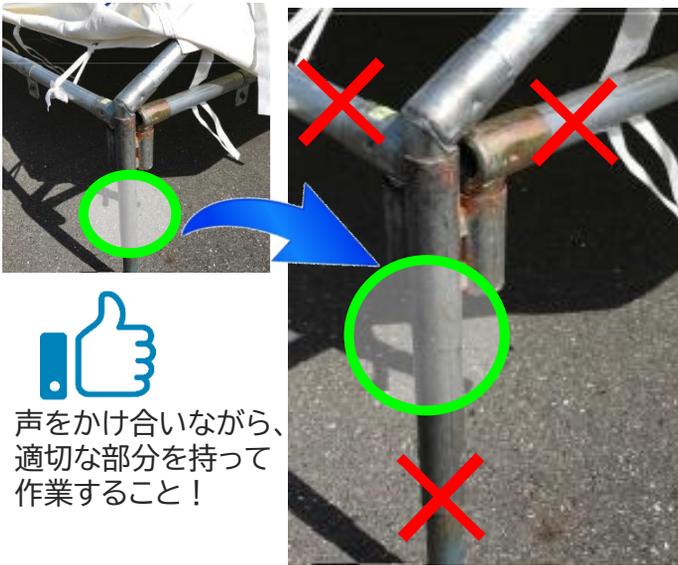
ヘルメットをかぶらずに作業し  
頭部を裂傷した

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ◆テント設営撤去時



軍手やヘルメットを着用することで事故防止につながる！



風が強いから  
テント撤去しよう！



設置後に強風になった際は、テントは撤去すること！  
また、強風時はテントを設営しないこと！

## ④.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事故事例

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

❖歩行運搬時



回り道をせずバーをまたいで転倒してしまった！



整理整頓不足と、足元の確認不足が重なって転倒につながった！

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ◆歩行運搬時



日頃の整理整頓の習慣化が大切！  
また、大きなものを運搬する際は、必ず足元を確認する！  
障害物があるときは、必ず迂回しよう！  
夜間・早朝など見通しの悪い場所は特に注意する！

## 4.作業前の確認事項

ヒヤリハット・事事故事例

### (3)ヒヤリハット・事事故事例と望ましい作業方法

#### ◆熱中症



水分・塩分の  
補給不足



寝不足



炎天下での  
長時間業務



様々な要因で熱中症を引き起こす！

#### 熱中症の自覚症状

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直、頭痛、吐き気、倦怠感、高体温など

#### 熱中症の他覚症状

ふらつき、生あくび、失神、大量発汗、けいれんなどのほか、返事がおかしい、ぼーっとしている場合も要注意！

#### ◆天候に起因する事案

夏季



日焼による火傷

冬季



しもやけ  
路面凍結における転倒

雨 天  
降 雪



転倒



天候に起因するケガ・事故も多発しているので要注意！

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ❖熱中症



水分・塩分の補給



十分な睡眠



こまめな休憩



日頃からの体調管理も重要！！万全な体調で業務に臨むこと！  
体調の異変(熱中症の自覚症状)を感じたら、業務を中断して速やかに指揮監督者  
(またはチーフ)に報告すること！  
また、熱中症のおそれがあるスタッフを見つけた場合も同様に対応すること！

#### ❖天候に起因する事案

夏 季



日焼け止めで対策！！  
耳も忘れずに塗る！  
肌に合わないときは  
自身で用意する！

冬 季



防寒対策！！  
靴下はしめつけの  
少ないものがおすすめ！

雨 天  
降 雪



滑りにくい靴を履く！  
歩行にも注意する！



野外での勤務は大けがを防ぐため、事前のケアを怠らないこと！

## ④.作業前の確認事項

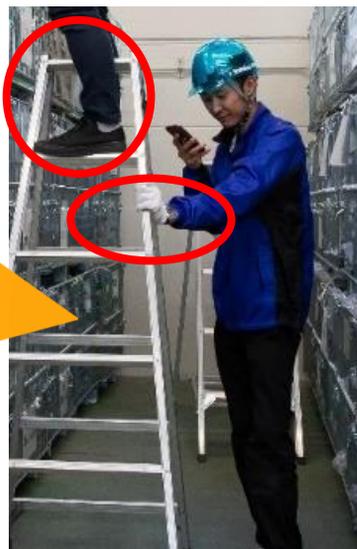
ヒヤリハット・事件事例

### (3)ヒヤリハット・事件事例と望ましい作業方法

#### ◆脚立使用时



脚立の天板の上に乗っての作業は禁止行為！！  
また、2m以上の脚立は使用不可！！  
ヘルメットを着用せず脚立には乗ってはいけない！！



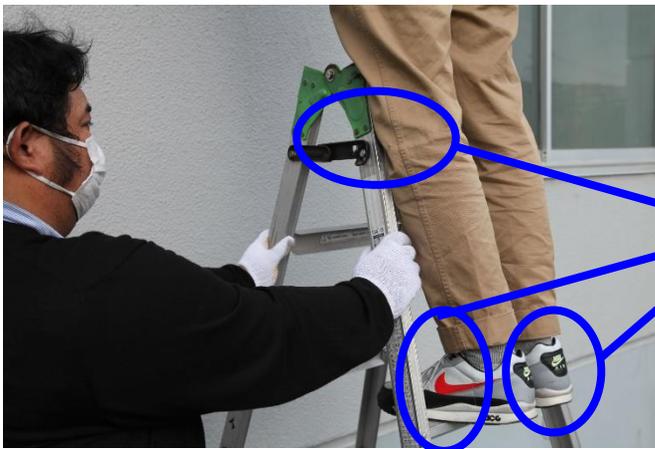
両手でしっかりと補助しないと転倒の危険性がある！！  
また、脚立にまたがってはいけない！！

## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

#### ◆脚立使用時



**3点支持**  
身体の重心を  
脚立に預ける！



脚立の向きは、作業面と並行に設置すること。  
脚立使用時は、必ずヘルメットを着用すること！  
脚立はまたがらず、片側のみを使用し、体の三点を天板や踏み台に密着させ(※三点支持)、安定を保ちながら作業をすること！  
また、必ず下に補助をつけること！

## ④.作業前の確認事項

### ヒヤリハット・事事故事例

#### (3)ヒヤリハット・事事故事例と望ましい作業方法

##### ❖トラックの荷積み・荷下ろし時



ヘルメットの未着用は禁止！  
また、トラックでの積み下ろし作業の  
際は昇降設備の設置が必須！



キャストーストッパーを  
起こさずに昇降操作する  
と、積み荷が転落する  
危険性がある！！



昇降板の昇降部分で補助  
をして足をはさまれた！



特別教育の未受講者が操作、作業しては  
いけない！！  
昇降中に昇降板に搭乗してはいけない！

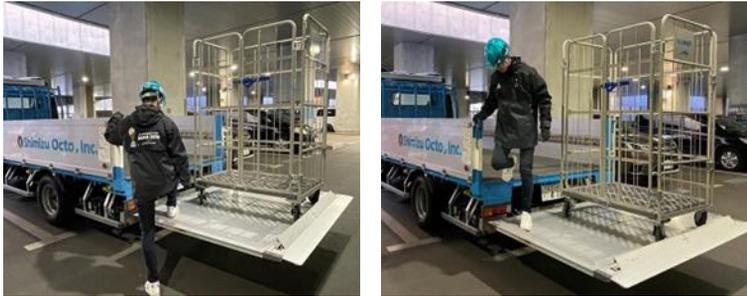
## ④.作業前の確認事項

望ましい作業方法

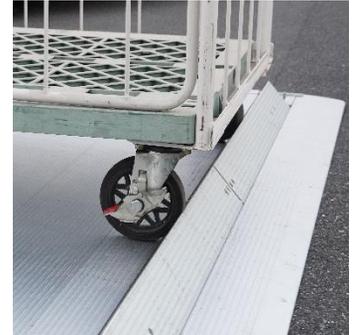
### (3)ヒヤリハット・事故事例と望ましい作業方法

◆トラックの荷積み・荷下ろし時

R5年10月1日より施行！！



- ◆ 最大積載量2t以降のトラックで積み下ろし作業を伴う際は、昇降設備の設置が義務化される  
※リフターを中間位置に停止させる場合はそのリフターが「昇降設備」とみなされる
- ◆ テールゲートリフターが設置されている最大積載量2t以上のトラック(※)の作業にはヘルメット着用が義務化される  
※オクトの場合、車両の積載量や昇降板の有無に関わらずトラック作業時はヘルメット着用のこと！！



キャストーストッパーは必ず起こして積み荷を固定すること！  
また、台車のキャストのロックも必ずかける！

R6年2月1日より施行！！



テールゲートリフターを使用して積み下ろし作業を行うためには、特別教育の受講が義務化される。(学科4時間、実技2時間)  
未受講者は積み下ろし作業をしてはいけません！

### (4)協力会社(外注)の作業の確認

作業時は原則、本ガイドラインに則って作業してもらう。

ただし、発注状況によっては作業不可の場合があるため、作業可能範囲については、事前に確認すること。



## ⑤.安全確保の心得

### (1)5S運動

整理整頓は「安全」の基本であり、かつ健康な職場づくり、そして生産性の向上をめざす活動である。また、整理整頓は、つまづき・転倒の予防措置にもつながる。

～5S活動について～

整理



不要なものを片付けよう

清掃



常にキレイにしよう

整頓



置き場所を決めて  
すぐに取り出せるように  
しよう

清潔



整理・清掃・整頓を維持しよう

躰



現場のルールを守ろう

## ⑤.安全確保の心得

### (2)ヒューマンエラー防止活動

ヒューマンエラーとは「人的ミス」や「人的過誤」ともよばれ、人間の行為(ミス)が原因で起こる事故やトラブルのことを指す。

#### ～ヒューマンエラーの分類～

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ① 無知・未経験・不慣れ | ② 危険軽視・慣れ      |
| ③ 不注意        | ④ 連絡不足         |
| ⑤ 集団欠陥       | ⑥ 近道・省略行動本能    |
| ⑦ 場面行動本能     | ⑧ パニック         |
| ⑨ 錯覚         | ⑩ 中高年の機能低下     |
| ⑪ 疲労感        | ⑫ 単調作業等による意識低下 |



#### ～ヒューマンエラー防止策～

- 知識不足や状況認識の欠如、思い込みが原因で起こる事故

👉👉👉 注意喚起を促し、教育を徹底することで防止



- コミュニケーションやチームワーク不足が原因で起こる事故

👉👉👉 作業を分かりやすく、やりやすくすることで防止



## ⑤.安全確保の心得

### (3)KYK(危険予知活動)実施の徹底

指揮管理者は、その日の作業内容や危険ポイントの予測と予防措置を計画し、現場従事者に伝達を行うこと。

現場従事者は、その指示を理解して安全な作業に努める。

第1R(現状把握) … どんな危険がひそんでいるか

第2R(本質追究) … これが危険のポイントだ

第3R(対策樹立) … あなたならどうする

第4R(目標設定) … 私たちはこうする

#### ❖事例1 スロープが多い会場

どんな危険? 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 台車など、荷物の運搬時に足が轆かれる危険

危険ポイント 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 単独での運搬あるいは誤った運搬方法

対 策 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 一人で作業しない

台車の車輪のそばに足をもっていかない

目 標 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 車輪付きの運搬方法を事前に教育する

複数のスタッフで運搬する



#### ❖事例2 晴れた日の現場

どんな危険? 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 熱中症の発症

危険ポイント 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 日陰のない場所

対 策 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 こまめな水分・塩分補給

目 標 🇸🇬 🇸🇬 🇸🇬 給水等の整備と適度な休憩の設定



## ⑤.安全確保の心得

### (4)KYT(危険予知訓練)の習慣化

危険予知訓練とは、作業に従事する作業者が、現場でKY活動がスムーズに行えるよう、事故や災害を未然に防ぐことを目的に、写真やイラストを用いてその作業に潜む危険を視覚的に予想し、指摘しあう訓練である。

【演習問題】写真の中に潜む危険ポイントと予防策を挙げてみよう！

演習①



演習②



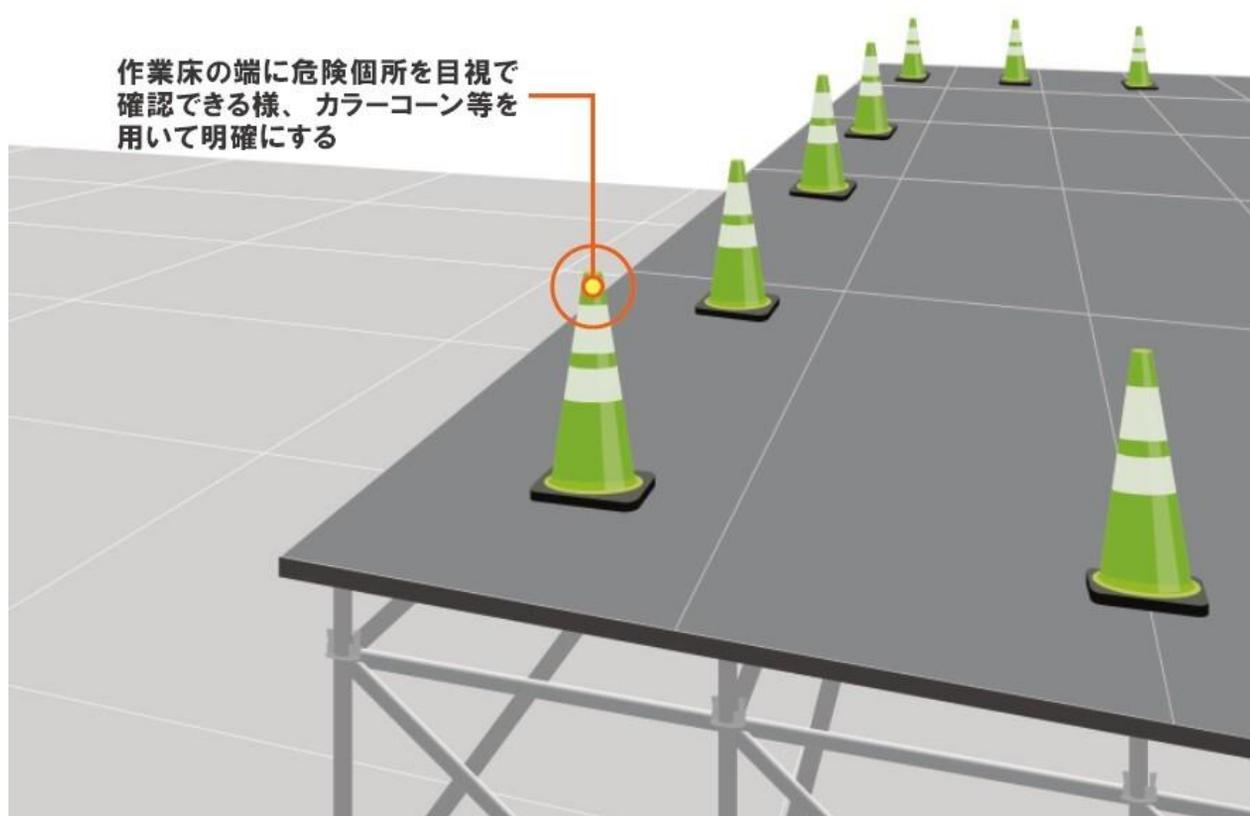
日頃から  
危険予知訓練を  
習慣づけよう



## ⑥.重大事故に対する安全対策措置

### (1)墜落事故に対する安全措置

高さ2m以上の墜落・転落の恐れのある場所での作業で、手すり等を設ける事や墜落防止器具の安全な使用が困難な場合、作業床の端に危険箇所を目視で確認できる様、カラーコーン等を用いて明確にする。



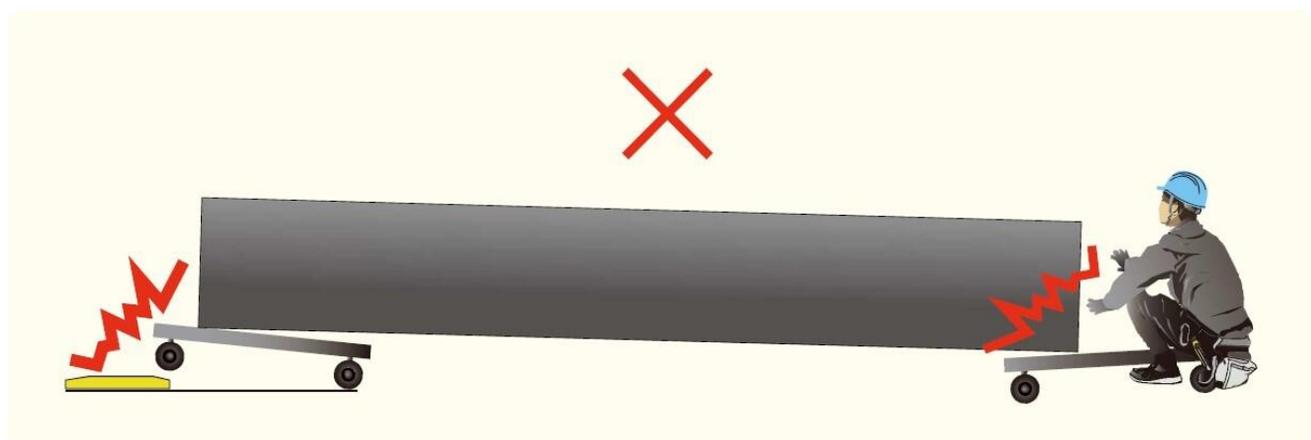
2022年、当社員が被災者となる墜落・転落事故が発生し、労働基準監督署より安全対策措置の検討を求められた。

墜落・転落の恐れがある場所での作業に関し、上記事項を遵守すること。

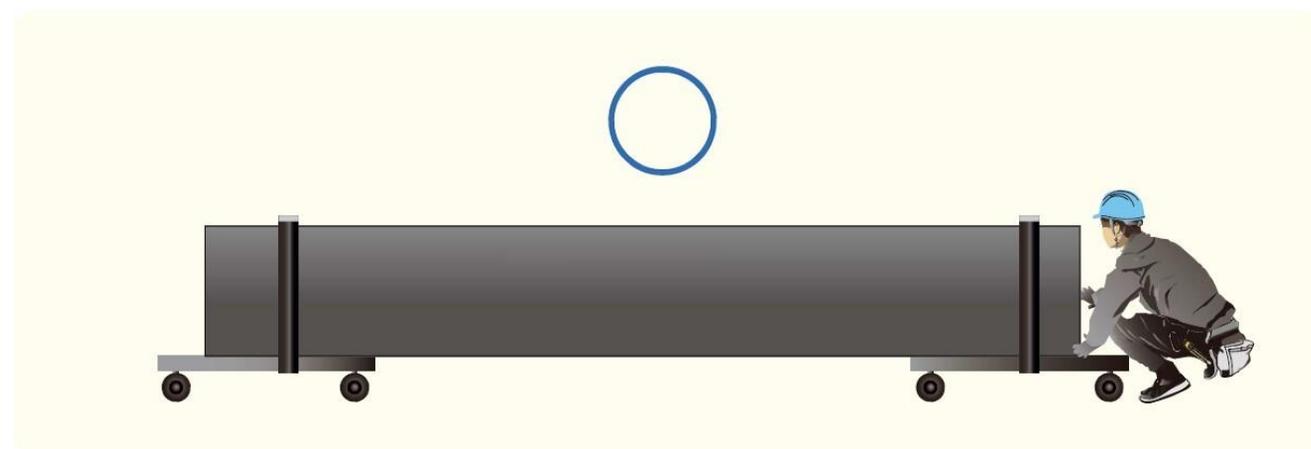
## ⑥.重大事故に対する安全対策措置

### (2)台車事故に対する安全措置

・荷のずれによる荷崩れを防止するため、固定なしでの搬出入作業を禁止する。



・荷と台車をラッシングベルトにより固定・確認の上、搬出入作業を行うこと。



2022年、当社手配のアルバイトスタッフが被災者となる重篤な人身災害が発生し、労働基準監督署より安全対策措置を求められた。アルバイトスタッフ雇用に対する安全措置として、上記事項を遵守すること。